



F - Release

エフ・リリース
NPO 法人 ふじ環境倶楽部 情報誌
VOL. 15-4 2005. 2 月 発行

NPO 法人 ふじ環境倶楽部は、市民・企業・行政のパートナーシップを基本としながら、

- 富士地域の自然及び社会的資源の掘り起こし、磨き上げ
- 地域資源を活用したまちづくり計画の策定、まちづくり活動の実践
- 市民団体相互のネットワークの構築 等を通じて、市民がこの地域で誇りを持って働き、暮らしていける「資源循環・環境共生型のまちづくり」を目指して、楽しく、ゆっくり、着実に歩んでいます。(平成12年11月9日法人として設立)

◎ 川自慢大賞の審査結果に対する事務局謝罪

VOL.15-3 でお知らせしましたが、川自慢大賞の審査において、東海大学の成瀬教授の非常識な発言に対して、この大会の主催者であり事務局でもある、静岡県都市住宅部の原主幹が今泉小の子供たちに謝罪(説明)に来ました。

日時 平成17年2月8日 15:30~16:15
場所 今泉小学校
説明者 静岡県都市住宅部公園緑地室
公園緑地スタッフ 原 隆一 主幹
対応者 ・今泉小学校
佐野校長 志村教頭
4年生担任 高木先生 他 2先生
4年生 生徒(発表者代表) 16名
・六町内河川委員会 田中さん
・ふじ環境倶楽部 栗原

● 説明内容

- ・事前に審査員6名に対して書面をもって、また、当日の大会前にも「発表者の良いところを見つけ出し、良いところを積み上げて、より一層の発展につなげるような審査、評価をして欲しい。決して批判的な発言はしないように」との依頼をしてあった。
結果的にはあの審査員を選んできた事務局の責任であり、誠に申し訳なかった。
- ・会場の皆さんの審査結果「1位(今泉小)=95ポイント 2位(みずがき倶楽部)=55ポイント」で分かるように、今泉小の発表とその内容の素晴らしさは誰もが認めている。
- ・来年も今回の結果に懲りずに、後輩の4年生に継承して川自慢大賞に挑戦して欲しい。

● 高木先生から生徒へ

今泉小学校の皆さんの発表を聞いてくれた会場の方々は、最高の評価をしてくれています。

何があっても「ぼくらの友だち 田宿川」の気持ちは変わらずに、これからも頑張っていけますね。

● 生徒全員

はい 頑張ります。

● その後、校長室で

- ・成瀬教授を連れてくることも考えたが、本人は全く反省しておらず、ここに来てかえって皆さんの気持ちを逆なでする結果になるので止めました。
- ・成瀬教授は来年の審査員から外します。
- ・成瀬教授が今泉小に何か敵愾心を持っているかどうかは分からない。
- ・田中さんからお話のあった、今泉小の田宿川への関わりは「継続ではなく継承である」という言葉は、今後の川自慢大賞のキーワードとして考えたい。

